

先進急性期医療センターに通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

【研究課題名】 高血糖緊急症における輸液療法の腎機能への影響に関する多施設後ろ向き観察研究

【研究機関名・長の氏名】 北海道大学病院 寶金 清博

【研究責任者名・所属】 早川 峰司（先進急性期医療センター・助教）

【研究の目的】

本研究は高血糖緊急症（糖尿病性ケトアシドーシスや高浸透圧高血糖症候群）と診断され入院された患者さまを対象として、この病気の特徴（頻度や臨床的特徴、治療の内容と効果、予後）について他の病院、施設と共同で調査し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

【研究の方法】

○対象となる患者さん

2012 年 1 月から 2016 年 12 月の期間内に、高血糖緊急症、糖尿病性ケトアシドーシスまたは高浸透圧高血糖候群の診断で治療を受けている方

○利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、病院入院日、病院退院日、退院時転帰、ICU/HCU 入室日、ICU/HCU 退室日、糖尿病罹病期間、背景糖尿病のタイプ、糖尿病治療既往歴、入院後合併症、基礎腎機能、感染症関連情報、検査結果（血液検査）

上記のカルテ情報を、藤田保健衛生大学救急総合内科に、暗号化通信または親展郵送で送付します。

【研究実施期間】

実施許可日～2021年1月1日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院先進急性期医療センター 担当医師 太安 孝允

電話 011-706-7377 FAX 011-706-7378